

2018年度 第1四半期決算説明

イオン株式会社

2018年7月4日

営業収益：7期連続で第1四半期の最高収益を更新
 営業利益、経常利益：最高益を更新
 親会社株主に帰属する四半期純利益：+78.3%の増益

(億円)

	実績	前期差	前期比
営業収益	21,046	+365	+1.8%
営業利益	396	+29	+8.2%
経常利益	402	+28	+7.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	65	+28	+78.3%

セグメント別業績



2017年度に黒字化した**GMS事業**、**国際事業**の損益改善が継続

(億円)

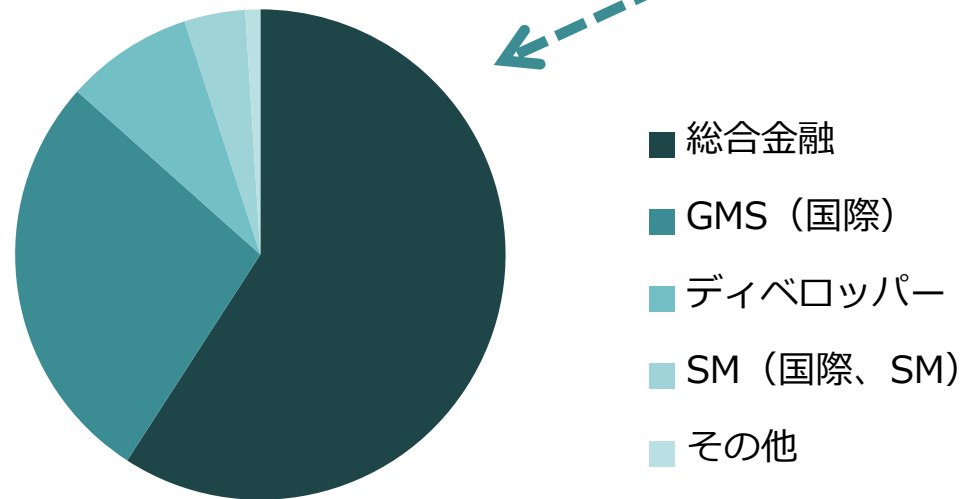
	営業収益		営業利益	
	実績	前期比	実績	前期差
GMS事業	7,510	-0.1%	-45	+18
SM事業	7,987	-0.4%	20	+1
ヘルス&ウェルネス事業	1,938	+13.4%	55	-1
総合金融事業	1,063	+8.7%	174	+25
ディベロッパー事業	886	+6.9%	131	+5
サービス・専門店事業	1,971	+0.7%	66	-15
国際事業	1,150	+7.8%	1	+15
連結合計	21,046	+1.8%	396	+29

海外が連結業績を牽引

(億円)

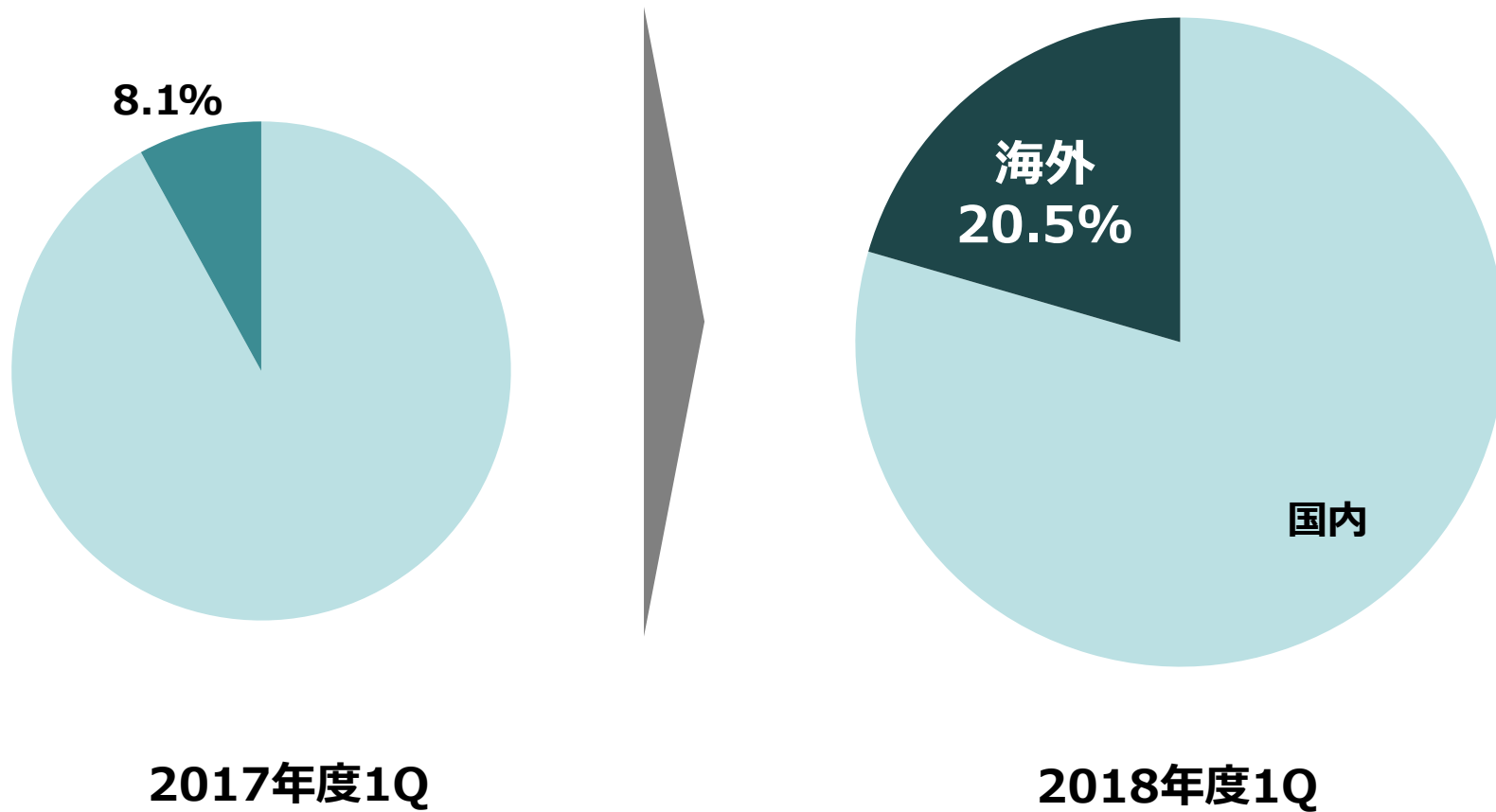
	営業収益		営業利益	
	実績	前期比	実績	前期差
日本	19,100	+1.0%	314	-21
海外	1,945	+9.7%	81	+51
連結合計	21,046	+1.8%	396	+29

海外営業利益前期差の内訳※



海外の営業利益構成比が20%を超え

エリア別 営業利益構成比



(億円)

イオンリテール：荒利益率の改善が進む

(GMS事業)

営業利益 前期差	概況	
+12	売上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存比：-1.5% 買上点数：+2.3% ・ ホームアプライアンス、リカー等が好調
	荒利益	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直営売上総利益率：前期差+0.4 ・ デリカ、インナー部門等の荒利益率が改善
	経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存比：-1.9% 全社比：-0.4% ・ 販売促進費等の効率運用
	トップ バリュ	<ul style="list-style-type: none"> ・ イオンリテールにおけるトップバリュ売上前期比：+8.2% ・ 販売単価前期比：-5.7% 同販売点数：+14.7%

(億円)

イオンリテールストア※：活性化店舗の売上が伸長

(GMS事業)

営業利益 前期差	概況	
+6	売上	<ul style="list-style-type: none"> 既存比：+2.8% 客数既存比：+3.7%
	荒利益	<ul style="list-style-type: none"> 直営売上総利益率：前期差+0.4 デリカ、ファーマシー等の高荒利益部門が貢献
	活性化 店舗	<ul style="list-style-type: none"> 業績改善が継続 <ul style="list-style-type: none"> 東戸塚（2016年9月活性化）1Q売上前期比 +6.5% 新浦安（2017年5月活性化）1Q売上前期比 +18.7% 活性化店舗ではトップバリュ売上が大きく伸長 <ul style="list-style-type: none"> 新浦安（+29%）、碑文谷（+29%）、 東戸塚（+22%）

※旧ダイエーGMS店舗（関東、近畿、名古屋）の承継会社

イオンフィナンシャルサービス：海外業績が伸長

(億円)
(総合金融事業)

営業利益 前期差	概況	
<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">+25</p> <p style="text-align: center;">(総合金融 事業)</p>	国内	<ul style="list-style-type: none"> ・カードショッピング（取扱高前期比：107.0%） ・カードキャッシング（同：102.9%）
	海外	<p style="text-align: center;">香港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気アニメとのコラボ企画による会員獲得、利用促進 ・販促費用の効率的活用 <p style="text-align: center;">経常収益：前期比 +5.4%</p> <p style="text-align: center;">経常利益：前期比 +27.7% ※</p>
	タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・現地小売大手グループとの提携1周年を記念した共同販売促進企画による会員獲得、利用促進

※数値はAEON CREDIT SERVICE (ASIA)が発表した第1四半期決算の現地通貨ベース

主要企業の状況



イオンモール：海外事業が2四半期連続で黒字

(億円)
(ディベロッパー事業)

営業利益 前期差	概況	
+5	国内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存モールの専門店売上前期比： +0.1% ・ 1モールの増床、3モールのリニューアルを実施。2017年度以降の増床、活性化モールの専門店売上前期比は+8%
	海外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存モールの専門店売上が伸長 ベトナム：+16.7% カンボジア：+12.3% 中国：+16.3% ・ 24モール中17モールが黒字化。海外で4億増益

青島イオン：既存店の改善

(国際事業)

営業利益 前期差	概況
+1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年7月に黄島店を活性化。生鮮、デリカ、ベーカリー強化に加え住余部門も見直し。活性化以降+6%の売上伸長。好事例を他店舗へ水平展開

主要企業の状況



イオンマレーシア：既存店の改善

(億円)
(国際事業)

営業利益前期差	概況
+3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存店活性化、中国旧正月向け商品の早期展開等が奏功し増収 ・ 荒利益率も改善し増益 <p style="text-align: right;">営業収益：前期比 +3.5% 営業利益：前期比 +16.0% ※</p>

イオンビッグマレーシア：既存店の改善

(国際事業)

営業利益前期差	概況
+3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過度な値引きを抑制し高値入商品を強化。生鮮廃棄ロスの削減、店舗活性化による住余、衣料品の構成比拡大等により荒利益率改善

イオンベトナム：既存店の改善

(国際事業)

営業利益前期差	概況
+1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベトナム旧正月期間売上が前期比+18%と大幅伸長 ・ 1Q食品売上前期比：+16%

連結業績予想



(億円)

	2018年度予想	前期比	前期差
営業収益	87,000	+3.7%	+3,099
営業利益	2,400	+14.1%	+297
経常利益	2,400	+12.3%	+262
親会社株主に帰属する 当期純利益	350	+42.7%	+104

The AEON logo is centered on a white background. It features the word "AEON" in a bold, purple, sans-serif font. A purple, three-dimensional ring with a slight gradient and a shadow effect is positioned horizontally, passing through the middle of the letters 'E' and 'O'.

AEON

参考資料

セグメントの変更



2017年度	主な移管会社	2018年度
GMS事業		GMS事業
SM事業		SM事業
ドラッグ・ファーマシー事業		ヘルス&ウェルネス事業 ※名称変更
総合金融事業	コスメーム イオンボディ R.O.U イオンフォレスト	総合金融事業
ディベロッパー事業		ディベロッパー事業
サービス・専門店事業		サービス・専門店事業
国際事業		国際事業

※GMS事業に含まれていたイオンドットコムがその他へ移動

2018年5月末 連結貸借対照表



(億円)

資産の部 (主要項目のみ)	2018/2	2018/5	前期末差	負債・純資産の部 (主要項目のみ)	2018/2	2018/5	前期末差
現預金	9,180	8,502	▲678	支払手形・買掛金	9,061	9,599	+537
受取手形・売掛金 (割賦売掛金含む)	12,921	13,881	+960	有利子負債 (金融子会社除く)	15,346	16,142	+796
たな卸資産	6,002	6,058	+55	有利子負債 (金融子会社)	8,097	8,197	+99
営業貸付金・銀行業 における貸出金	21,675	22,968	+1,293	銀行業における預金	30,072	31,419	+1,346
有形固定資産	27,551	28,239	+688	負債合計	75,360	78,574	+3,214
投資その他資産	9,284	9,519	+235	株主資本	10,619	10,464	▲154
資産合計	94,527	97,396	+2,869	純資産合計	19,167	18,822	▲345
				負債・純資産合計	94,527	97,396	+2,869

		2017年度 実績	2018年度 予想
年間配当金	第2四半期末	普通配当 15円	普通配当 17円
	期末	普通配当 15円	普通配当 17円
	合計	普通配当 30円	普通配当 34円

ダイエー再編関連企業の2018年度第1四半期実績



(億円)

事業	社名	営業収益		営業利益	
		実績	前期比	実績	前期差
GMS	イオンリテールストア ※関東、近畿、名古屋の 旧ダイエーGMS	335	-5.2%	-17	+6
	イオンストア九州 ※九州の旧ダイエーGMS	137	+1.0%	-4	+1
SM	ダイエー	700	-4.2%	-21	-6

イオン初の「AEON Report 2017（統合報告書）」（2017年11月発行）

（日） <http://www.aeon.info/ir/library/aeon-report.html>

（英） <http://www.aeon.info/en/investors/library/aeon-report.html>

「サステナブル経営説明会（ESG説明会）」（2017年12月12日開催）

（日） <https://www.aeon.info/ir/policy/strategy.html>

（英） <https://www.aeon.info/en/investors/policy/strategy.html>

「イオン 脱炭素ビジョン2050」（2018年3月28日 プレスリリース）

（日） http://www.aeon.info/news/2018_1/pdf/180328R_3_2.pdf

（英） http://www.aeon.info/export/sites/default/common/images/en/pressroom/imgsrc/180328R_3.pdf

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- この資料の著作権はイオン株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。